

京都創生

KYOTO SOUSEI

第10号



日本の財産である京都を守り、育て、未来へ

本誌は、京都創生推進フォーラムの会員の皆様をはじめ、市民の皆様による京都創生の実現に向けた取組を応援する広報誌です。



【特集】オール京都で、首都圏に京都の魅力を発信!!
「京あるき in 東京 2014
～恋する京都ウィークス～」開催

■東京で“ほんまもん”の京都を堪能いただける112の催しを実施！

京都市、京都商工会議所、(公社)京都市観光協会、京都創生推進フォーラムは、京都創生PR事業「京あるき in 東京2014～恋する京都ウィークス～」を開催しました。

4回目となる今回の催しでは、京都にゆかりのある関係者を中心に前回を上回る196(昨年165)の企業や団体、大学が参画し、平成26年2月4日から19日まで、東京の様々な場所で、京都の魅力を発信する112(昨年90)の催しを集中的に展開しました。

丸ビルで開催されたオープニングイベントでは、俳優の井浦新さんが京友禅の着物姿で登場。ジャズシンガーの祇園真琴さん、門川大作京都市長と、京都への思い、京都の未来について語り合いました。更に、今年の祇園祭・山鉦巡行に150年ぶりに復帰する大船鉦の囃子方の皆さんによる祇園囃子の披露など、会場を京都一色に包みました。

他にも、「京都ブランドフォーラム in 東京」、相互交流宣言を行っている新潟市・会津若松市と連携した日本酒PR、ホテル庭園での東山花灯路の再現、駐日大使や留学生等を対象とした伝統文化セミナー、高台寺蒔絵を再現した蒔絵屏風などの展示、京都の大学による特別講座、スタンプラリーなど、首都圏の皆様により多彩で奥深い京都の魅力を堪能していただける16日間となりました。

今後も、回を追うごとに事業規模を拡大している、この「京あるき in 東京」の取組を通じたネットワークを活かし、京都発信の輪を広げ、全国の皆様により「国家戦略としての京都創生」の取組を理解し、応援していただけるよう、京都を愛する皆様とともに取組を進めていきます。



オープニングイベントの様子
(丸ビル1F マルキューブ)



東山花灯路の再現 (ホテル椿山荘 東京)



東海東京証券プレミア美術展「下出祐太郎の
世界—京蒔絵・伝統の継承と美の再現—」



海外向け京都文化セミナー
“京のおもてなし”

★「京あるき in 東京」については、下記のホームページ、フェイスブックページでご覧いただけます。

(公式ホームページ) <http://www.kyoaruki.jp/>

(フェイスブック) <https://www.facebook.com/kyoarukiintokyo>

京都創生推進フォーラムは、「国家戦略としての京都創生」の趣旨に賛同する団体、企業、市民が集まり、その実現に向けて自ら取り組み、相互に協力し、活動の輪を広げることで、京都から広く国内外に京都創生の機運を高めていくことを目指しています。

■京都創生連続講座 in 東京を開催!!

京都創生推進フォーラムと京都市では、「国家戦略としての京都創生」をより多くの皆様に理解・応援していただくために、京都に蓄積された日本の歴史・文化や、それが織りなす町並み景観をテーマにした「京都創生連続講座 in 東京」を開催しました。これは「京あるき in 東京2014」のイベントの一つとして開催したもので、当日は、1部2部あわせて、のべ500人近くの方に来場いただくなど、首都圏の皆さんの京都への注目や関心の高さを感じられる1日となりました。

開催日：平成26年2月7日(金) 会場：野村コンファレンスプラザ日本橋

■第1部 古典再発見!!

第1部は、「古典再発見!!」と題し、前半は、山下智子氏(朗読家)に源氏物語の前半のクライマックスともいえる「葵」と「賢木」の帖を、美しくやわらかな京ことばで語っていただきました。

また、後半の浅見和彦氏(成蹊大学名誉教授)による講演では、大災害や飢饉についての克明な記載がある鴨長明の「方丈記」や「発心集」から、歴史上の大災害の様子を紐解いていただきました。

どちらも、日本が世界に誇る古典文学とそれらの舞台となった京都の魅力を十分に味わうことができる時間となりました。



山下 智子氏



浅見 和彦氏

■第2部 京町家 東京シンポジウム 智恵の継承 ―京町家の再生を通して―

第2部は、西村吉右衛門氏(ちおん舎 舎主)、アラード・チャールズ・ジュニア氏(ウィントン・キャピタル・アジア《香港》代表取締役社長)、小島富佐江氏(NPO法人 京町家再生研究会 理事長)にご出演いただき、京町家の保存・再生を考えるパネルディスカッションを行いました。

京都・西陣の京町家を改修されたアラードさんは、アメリカ・ナンタケット島における伝統の風景を守る取組を紹介され、「古いものを残しながら新しく活用する」ことこそが「智恵の継承」であり、次の世代にどのようなまちを残すのかを

地域で考えることの重要性を話されました。また、西村さんは、明治初期建築の町家での暮らしと活動を紹介され、「町家の場の力」で様々な人が触れ合う新しい役割を果たしていきたいと大型京町家の継承への思いを語られました。



シンポジウムの様子

■和食を世界に！―外国人が日本料理を働きながら学べる特例措置が実現―

平成26年1月、国の総合特区制度を活用し、全国で唯一、市内に限り認められた、「外国人が日本料理を働きながら学べる特例措置」の受入第1号として、フランス人料理人のジュリアン・ヴェラさんが来日されました。今後2年間、「菊乃井」本店で働き、日本料理の知識や技能を学ばれます。

今後、京都市では、NPO法人日本料理アカデミーと連携して外国人料理人の日本料理店での受入を進め、日本料理の魅力を世界に発信する人材育成を図ります。



歓迎式典の様子

■“京都をつなぐ無形文化遺産”第2号に「京・花街の文化」を選定!!

京都市では、京都に伝わる様々な無形文化遺産を大切に守り、未来に引き継いでいくため、平成25年4月、「京都をつなぐ無形文化遺産」制度を創設しました。平成25年10月、第1号として選定した「京の食文化―大切にしたい心、受け継ぎたい知恵と味」に続き、このたび、「京・花街の文化―いまも息づく伝統伎芸とおもてなし」を選定しました。

これらの京都ならではの文化の保存・継承のため、皆様の一層のご理解とご支援をお願いいたします。

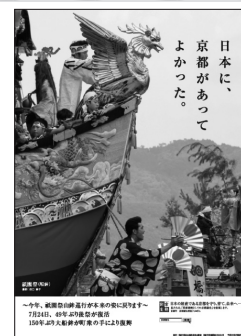
■京都創生PRポスター「日本に、京都があってよかった。」第22弾発行のお知らせ

京都創生推進フォーラムと京都市では、京都創生PRポスター「日本に、京都があってよかった。」を発行しています。

第22弾となる今回のテーマは、「祇園祭」。今年は、前祭(7月17日)と後祭(7月24日)の2日間の山鉦巡行が49年ぶりに復活するとともに、150年ぶりに大船鉦が町衆の手により巡行に復帰します。

このポスターを市民の皆様をはじめ、多くの方々に御覧いただき、京都がもつ歴史的・文化的資産の素晴らしさを再認識していただくとともに、かけがえのない文化を守り、育て、未来に伝えていく機運を高めていきたいと考えています。

※本ポスターと同デザインの『スルッとKANSAI都カード』が5月(予定)に登場します!



京都創生連続セミナール

京都創生推進フォーラムと京都市では、「国家戦略としての京都創生」の実現に向けた市民の皆様の自主的な活動を推進するために、景観・文化・観光分野の専門家から、京都の魅力や素晴らしさ、課題などを聞き、京都への理解を深める、京都創生連続セミナーを開催しています。

●●●●●●●●●● 第20回 日本の色、京の彩^{いろどり} ●●●●●●●●●●

開催日：平成25年11月9日（土） 会 場：池坊学園こころホール

講 師：吉岡 幸雄 氏（染織史家）

江戸時代から続く「染司よしおか」の五代目当主として、植物天然染料にこだわり、日本古来の色彩を現代に再現した吉岡氏から、日本の色、その色彩を育んだ京都、日本人の美意識についてお話をいただきました。



《主要内容》

○京都が育んだ日本の色

奈良時代は多くの色素材を輸入していましたが、平安時代になると遣唐使を廃止し、日本文化が独自の発展を見せます。三方を山に囲まれ、四季を愛でるのに非常に良い場所に位置する京都のまちが、平安時代、わが国のオリジナリティを生んだ源泉だったと思います。

平安時代の人々にとって、季節をどう感じて、どう表現するかが重要であったようで、その典型が季語を含む和歌です。桜色、莠色(すみれいろ)、山吹色など、色の名前がたくさん出てくるのも平安時代です。この華やかな色は、後の時代にも続き、鎌倉時代、室町時代の武士たちも非常に華やかな装いだったようです。

これからも、世界に誇れる日本の色彩文化を未来に伝えていきたいものです。

○京都のまちについて

染屋として実感するのは、京都の地下水を使って染めると、透明感がある色になるということ。だから、この地で染織技術が発展したのだと思います。

こういう仕事をしていると「京都みたいにありがたいまちはない」と思います。我々、京都人は、もっとまちに誇りを持って綺麗にしなければならない、もっとまちに感謝しなければならないと思います。

●● 第21回 近衛家の名宝 千年の記憶 ―陽明文庫と御堂関白記― ●●

開催日：平成25年12月14日（土） 会 場：キャンパスプラザ京都

講 師：名和 修 氏（公益財団法人 陽明文庫 理事・文庫長）

藤原氏伝来の宝物を今に伝える近衛家の「陽明文庫」。藤原道長の自筆日記「御堂関白記」(国宝)をはじめ、「陽明文庫」が保存・管理する日記・古文書・典籍や絵画・染織などの貴重な名宝について映像を中心にお話いただきました。



《主要内容》

○「御堂関白記」について

「御堂関白記」は、藤原道長の直系子孫に代々伝え残された史料で、平安時代の太政大臣・藤原道長が自ら記した日記です。現存する世界最古の自筆の日記として、平成25年6月、ユネスコの世界記憶遺産に登録されました。

「御堂関白記」に一番詳しく書かれているのは、藤原道長にとって非常に大事な行事です。主なものは天皇に関連した事柄で、今の閣議に該当する議場でどのようなことがあったか、どういう案件をどう処理したかなどと詳しく書かれています。

和歌の贈答についての記載では、藤原道長が、当時は女性が主に使用していた仮名を使用していることが史料として重要な意味を持っています。

○陽明文庫は貴重な史料の宝庫

「御堂関白記」以外にも、代々の近衛家が残した日記が保管されています。また、歴史史料としての価値ではなく、美術工芸品としての付加価値が高いために国宝に指定された資料、藤原公任編纂の「和漢朗詠集」もあります。

「御堂閔白記」だけが「陽明文庫」の宝ではありません。国宝8件、重要文化財60件を含む、十数万点の貴重な史料が残されているのです。

※京都創生連続セミナーの詳細は、「京都創生推進フォーラム」のホームページにアクセスすればご覧いただくことができます。(アドレス <http://www.kyoto-sousei.jp/>)

イベントカレンダー

京都創生推進フォーラム会員が実施する催し等をご紹介します。

京都創生推進フォーラムのホームページでも、当会員が実施する催しを紹介しています。(アドレス <http://www.kyoto-sousei.jp/>)

事業名	概要	開催期間	会場(住所)	料金	申込	主催者等
第39回公募昭和美術会展	京都を拠点とする全国公募の展覧会。油彩画・日本画・水墨画・水彩画の大作。	開催中～ 3/23(日) 9:00～17:00	京都市美術館 (京都市左京区岡崎公園内)	800円	不要	昭和美術会 (075-751-8938)
百人一首を彩る女流歌人たち —小野小町とその伝説—	百人一首を代表する女流歌人・小野小町を取り上げ、近世に描かれた歌仙絵や小町伝説をもとにした作品などをご紹介します。	開催中～ 3/30(日) 10:00～17:00 (入館は16:30まで)	小倉百人一首殿堂 時雨殿 (京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11)	高校生以上 500円 小中学生 300円	不要	小倉百人一首文化財団 (075-882-1111)
京都観光写真展	京都の魅力ある観光地や行事・史跡等を紹介している写真展です。	開催中～ 3/31(月) 9:00～15:00	京都銀行営業店ロビー	無料	不要	京都銀行 (075-361-2293)
漬物教室	家庭のできるヌカ漬の作り方をお教えます。	開催中～ 4/30(水) (日・祝日除く) ①10:00～11:00 ②14:00～15:00	川勝總本家 (京都市下京区大宮通五条上る上五条町394)	2000円	要	川勝總本家 (075-841-0131)
五感で感じる和の文化事業 「伝統芸能みくら公演」	伝統芸能を他の分野とみくらべることで、その芸の本質である精神性や構造に迫ります。 (1)能とコンテンポラリーダンスをみくらべる (2)寄席と色物をみくらべる (3)舞いと踊りをみくらべる	(1)3/20(木) 19:00～ (2)3/21(金・祝) 15:00～ (3)3/23(日) 15:00～	京都芸術センター 講堂 (京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2)	一般前売券 2000円 学生前売券 1500円 当日券 2500円 3日間通し券 5000円	不要	京都市文化芸術企画課 (075-366-0033)
大徳寺興臨院	重要文化財の本堂をはじめ、「蓬萊の世界」を表現した庭園を公開。	3/22(土)～ 6/1(日) 10:00～16:00 (受付終了) (3/20拝観休止日)	大徳寺 (京都市北区紫野大徳寺町)	大人 600円 中高生 400円 小学生 300円	不要	京都春秋事務局 (075-231-7015)
大徳寺黄梅院	千利休作の直中庭や武野紹鷗好みの茶室昨夢軒が公開されます。	3/23(日)～ 5/11(日) 10:00～16:00 (受付終了)	大徳寺 (京都市北区紫野大徳寺町)	大人 600円 高校生 400円 中学生 300円	不要	京都春秋事務局 (075-231-7015)
project kyo-to/ Kyoto Connection・ Kyoto Contemporary 京都展	海外販路開拓事業「Kyoto Connection」・「Kyoto Contemporary」及び国内販路開拓事業「project kyo-to」の新規開発商品を京都市内にて凱旋展示いたします。	3/25(火) 13:00～17:00	ハイアットリージェンシー京都 (京都市東山区三十三間堂廻り644-2)	無料	要	ファッション京都推進協議会 (事務局：京都商工会議所 産業振興部内 075-212-6450)
春の文化財特別公開 霊鑑寺 ～椿の尼門跡寺院 「谷の御所」～	「椿の寺」として知られる尼門跡寺院。狩野派の華麗な障壁画の残る書院や、樹齢300年以上の日光椿(京都市指定天然記念物)をはじめ30種以上の名椿が美しい。	4/1(火)～ 4/13(日) 10:00～16:00 (受付終了)	霊鑑寺 (京都市左京区鹿ヶ谷御所ノ段町)	中学生以上 600円 小学生 300円	不要	京都市観光協会 (075-752-7070)
PARASOPHIA オープンリサーチプログラム [レクチャー] クリス・デルコン 「21世紀のための 美術+建築」	2015年春に行われる国際展「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015」に向けて、キュレトリアルチームが行う調査研究の過程を公開するプログラム。今回は、テート・モダン館長のクリス・デルコン氏によるレクチャーを実施。(英語での講演。日本語逐次通訳あり)	4/4(金) 19:00～20:30 (18:30開場)	京都国立近代美術館 1階ロビー (京都市左京区岡崎公園内)	無料	不要 ※事前申込不要 (定員50名)	PARASOPHIA事務局 (075-257-1453) ※当日17:00から1階インフォメーションにて整理券を配布
市民寄席	若手からベテランまで多彩な顔ぶれの京都市主催の伝統の落語会。	5/13(火) 7/17(木) 19:00～	京都芸術センター講堂 (京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2)	前売 1500円 当日 1800円	不要	京都芸術センター (075-213-1000)
素謡の会	能の魅力をわかりやすく伝えるため、京都を中心に活躍する能楽師による「素謡」を上演する会。	5/22(木) 7/10(木) 19:00～	京都芸術センター講堂 (京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2)	前売 1500円 当日 1800円	不要	京都芸術センター (075-213-1000)
市民狂言会	大蔵流茂山社中の協力の下、市民の皆様に親しまれる狂言会。	6/6(金) 19:00～ 8/20(水) 14:00～	京都観世会館 (京都市左京区岡崎円勝寺町44)	前売2500円 当日3000円 団体2200円 ※8月20日開催分のみ高校生以下500円(前売・当日共)	不要	京都市文化芸術企画課 (075-366-0033)

○各事業の詳細は、主催者へお問い合わせください。 ○内容は、予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

京都創生推進フォーラム広報誌 「京都創生」

発行日 平成26年3月19日

発行 京都創生推進フォーラム (事務局：(公財)京都文化交流コンベンションビューロー 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル5F TEL.075-212-4540 FAX.075-212-4121)